

令和7年度

連合農学研究科『リサーチ・アシスタント』の募集について（第二次）

令和7年度連合農学研究科『リサーチ・アシスタント』について、指導する学生を推薦する場合には、下記要領で申請してください。

1. 対象者

申請時1・2・3年次

ただし、下記の学生は除きます。

①申請時に休学している者、及び当該年度4月1日に休学している者

（年度途中で休学した場合は、休学開始時期以降の給付を差し止めます）

②前年度以前に連合農学研究科『リサーチ・アシスタント』に採択された者

③社会人学生で勤務先の就業規則等に制限がある者（勤務実態が伴う制度のため要確認）

④国費外国人留学生

⑤経済的支援を目的とした研究奨励金または研究奨励費等（年間200万円以上）を受給している者

⑥生活費に係る奨学金（年間200万円以上）及び重複受給ができない他の奨学金等を受給している者

注：支給対象学生となった後、⑤⑥の採用が決定した場合は早急にご連絡ください。採用決定以降の給付を差し止めます。

2. 研究期間

2025年7月1日以降～2026年3月31日

※9月修了予定者は、2025年9月30日までの期間とします。

3. 要求時間数

上限350時間（※勤務時間は、週25時間を上限とします）

4. 申請期間

2025年4月9日（水）～4月16日（水）必着

5. 申請書類

◆令和7年度リサーチ・アシスタント申請書・・・・・・・・・・1部（1ファイル）

<https://www.tuat.ac.jp/uni-grad/kyoin/index.html>

◆研究業績（公表論文の別刷および口頭発表の場合は講演要旨）・・・各1部（各1ファイル）

なお、研究課題とRA候補者の博士論文課題との関連については、評価しません。

また、申請書類は返却しません。ご注意ください。

6. 申請方法

下記Googleフォームに指導教員が電子媒体で提出ください。

なお、指導教員（研究室）から推薦する学生の数に制限はありません。

（Googleフォーム）<https://forms.gle/8mez4gkdC7G3qbbi8>

（問合せ先）

東京農工大学大学院

連合農学研究科総務係

（後藤・関根）

Tel : 042-367-5669

Mail: rendai2@cc.tuat.ac.jp

令和7年度リサーチ・アシスタント申請書

研究代表者氏名		所属大学・職	
研究課題			
研究組織（研究代表者を含む、研究に参加する教員全てを記入下さい）			
氏 名	所属大学・職		役割分担
雇用予定 RA 氏名 学籍番号	専攻・学年・配置大学		
氏名			
雇用予定 RA の研究業績（公表論文の別刷および口頭発表の場合は講演要旨を添付下さい。◎各1部）			
研究内容及び研究目的			

研究遂行のための経費の出所（運営費交付金、科研費、受託研究費、委任経理金等）
研究計画・方法（研究目的を達成するための研究計画・方法を RA との関連を含め具体的に記入して下さい）
RA の必要理由（具体的かつ簡明に記入すること (80 字程度)）
研究期間
2025 年 7 月 1 日 ～ 2026 年 3 月 31 日
採用計画時間数（上限 350 時間）：
一週当 時間 × 週 = 時間 ※一週当 25 時間を超えないこと

※参考までに時間給は、構成大学ごとの単価を適用することとなります。

研究代表者氏名		所属大学・職	〇〇大学農学部教授
研究課題	〇〇〇に関する研究		
研究組織（研究代表者を含む、研究に参加する教員全てを記入下さい）			
氏 名	所属大学・職		役割分担
	〇〇大学農学部教授 〇〇大学農学部准教授		研究総括 研究調査
雇用予定 RA 氏名		専攻・学年・配置大学 〇〇〇〇専攻・〇年・〇〇大学	
雇用予定 RA の研究業績（公表論文の別刷および口頭発表の場合は講演要旨を添付下さい）			
研究内容及び研究目的			
日本の有機農業はこれまで、主として一者的、あるいは二者的関係の中で展開してきたが、2006年12月に有機農業推進法が制定され、農水省による有機農業総合支援対策が実施される中で、「地域に広がる有機農業」、すなわち地域における三者的関係のなかでの展開という新しい課題が浮上してきている。 本研究はこうした日本の有機農業の展開に関するこうした新状況についての実態把握を主目的に取り組まれる。 具体的には、農水省が助成を始めた「有機農業モデルタウン事業」全国45地域の現状調査を、配票調査と現地実態調査によって把握していく。併せて、農水省事業には参加していないが有機農業の地域的展開を実現している地域についても同様な調査を実施する。			

研究遂行のための経費の出所（運営費交付金、科研費、受託研究費、委任経理金等）
研究計画・方法（研究目的を達成するための研究計画・方法を RA との関連を含め具体的に記入して下さい） オーガニックモデルタウン地域の取り組み実態についての農水省地方農政局ヒアリング調査 オーガニックモデルタウン地域の取り組み実態についての配票調査 オーガニックモデルタウン地域の取り組み実態についての現地ヒアリング調査 オーガニックモデルタウン地域の取り組み実態についての配票調査 オーガニックモデルタウン地域の取り組み実態についての現地ヒアリング調査 RA はそれぞれについての調査担当および収集した資料の整理、分析を研究代表者（主指導教員）、研究分担者（副指導教員）の指導の下で実施する。
RA の必要理由（具体的かつ簡明に記入すること(80 字程度)）
本研究ではたいへん手間のかかる調査を計画しており、それらの調査実施の補佐、ならびに収集資料の整理分析には RA の配置は不可欠である。
研究期間
2025 年 7 月 1 日 ～ 2026 年 3 月 31 日
採用計画時間数（上限 350 時間）：
一週当 25 時間 × 14 週 = 350 時間 ※一週当 25 時間を超えないこと

※ 参考までに時間給は、構成大学ごとの単価を適用することとなります。

リサーチ・アシスタントは、「リサーチ・アシスタント申請書」の記載内容について、下記に述べる評定要素に着目して選考するものとする。

1) 審査委員

3号（研究科長補佐）及び4号代議委員とする。ただし、自らが「研究代表者」あるいは研究組織の一員となっている課題は、審査対象外とする。

2) 審査方法

(1) 当該学生のリサーチアシスタントとしての適性

「申請者」の業績を基に、5段階評価する。

評定区分	評価基準
5	非常に優れている
4	優れている
3	良好である
2	やや劣っている
1	劣っている
—	判定できない

(2) 申請研究課題の評価

(ア) 研究内容

「研究目的の明確さ」、「独創性」、「当該学問分野への貢献度」「研究費の準備状況」などに着目して、研究内容を評価する。

評定区分	評価基準
5	非常に優れている
4	優れている
3	良好である
2	やや劣っている
1	劣っている
—	判定できない

(イ) 研究計画

研究計画の妥当性について、リサーチ・アシスタントとの関連に着目して、評価する。

評定区分	評価基準
5	非常に優れている
4	優れている
3	良好である
2	やや劣っている
1	劣っている
—	判定できない

(3) 総合評価

3項目の評点を単純平均し、評点の最も高いものから順位を付す。